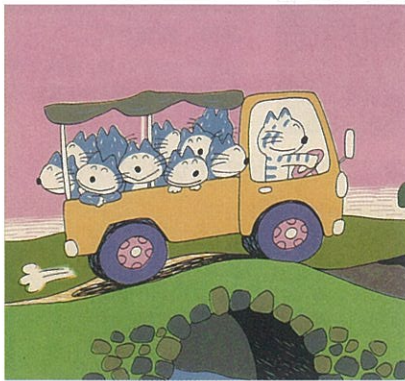


黒姫童話館&童話の森ギャラリー イベントニュース2017

11ぴきのねこと 馬場のぼるの世界展

会期：7月22日(土)～9月24日(日)

出版50年を迎える「11ぴきのねこ」シリーズが黒姫にやってきます!! 作者の馬場のぼるは戦後、漫画家としてデビューしますが、絵本作家としても活動し数多くの作品を残しました。展覧会では原画やスケッチなど馬場のぼるの魅力を紹介します。グッズ販売もお楽しみに。



「11ぴきのねことぶた」こぐま社 1976年刊印刷原稿(特色刷り校正用リトグラフ/部分)

大友康夫絵本原画展

会期：①4月5日(水)～5月29日(月)

②9月27日(水)～11月30日(木)

当館では黒姫にアトリエを兼ねた別荘をお持ちの、絵本作家、大友康夫氏の数多くの原画を所蔵しています。春は新たに寄贈された「3人のまじょシリーズ」(偕成社)の原画を、秋は『ハワイ島のボンダンス』(福音館書店)をご紹介します。



3人のまじょとドラゴン
「あくまのデクノボッチ」(偕成社)
作・絵 大友康夫

桜井誠の描く童話の世界

会期：6月1日(木)～7月19日(水)

おはなしの中には作品を彩るたくさんの動物が登場し、「ブレーメンの音楽隊」などは動物が主人公です。今回は、所蔵する桜井誠作品の中から、動物をテーマに展示します。いきいきとした姿をお楽しみください。



「ブレーメンの音楽隊」(世界文化社)
桜井誠・絵

第9回 黒姫高原クラフト祭り

9月23日(祝)・24日(日)

昨年は128の出展者が集まった好評のクラフト祭りを今年も開催6/1より出展者を募集いたします。詳しくは黒姫童話館までお問合せください。(TEL026-255-2250)

会場 黒姫童話館ひろば



Special event

定 期 公 演

ことたま座「竹取物語」

5月7日(日)・8月12日(土)・9月16日(土)・10月8日(日)

開演/11:00~/13:30~/15:00~/

日本で最古の小説といわれる「竹取物語」を独特の語り芝居に。古語の響きに、講釈調、様々な語り口調で物語る。魅力的な登場人物たちを生き生きと描く、罪と罰の物語をご堪能ください。

作/くるま大八
出演/ことたま座
窪田裕子
松本森子

11月

モコ&シドロモドロフの
「おもしろおはなしマイ・イ・ム」

5月6日(土)・7月30日(日)・8月14日(月)

8月15日(火)・9月10日(日)・10月9日(祝)

開演/11:00~/13:30~/15:00~/



一糸堂・新堂雅之 高橋素子 ホームページ <http://isshido03.com/>

2017 イベントカレンダー

4月29日(祝)	おたのしみ映画劇場
4月30日(日)	おたのしみ映画劇場
5月3日(祝)	第4回一箱古本市①
5月4日(祝)	第4回一箱古本市②
5月5日(祝)	映像と語りでつづる「信濃の伝説」
5月6日(土)	モコ&シドロモドロフの「おもしろおはなしマイ・イ・ム」
5月7日(日)	ことたま座『竹取物語』
5月13日(土)	物語のなかの香りたち①
5月28日(日)	童話館をもっと楽しもう! (紙芝居の日)
5月31日(水)	休館日
6月4日(日)	童話館をもっと楽しもう! (おはなしの日)
6月11日(日)	つかはらしげゆきの紙芝居の楽しみ方
6月24日(土)	スタインウェイ・ピアノリレーコンサート①
6月25日(日)	スタインウェイ・ピアノリレーコンサート②
6月30日(金)	休館日
7月8日(土)	物語のなかの香りたち②
7月9日(日)	童話館をもっと楽しもう! (紙芝居の日)
7月15日(土)	おはなしファミリー劇場 心はくもおはなしの世界①
7月16日(日)	おはなしファミリー劇場 心はくもおはなしの世界②
7月17日(祝)	ピアノコンサート「森の情景」Ⅷ
7月22日(土)	童話館をもっと楽しもう! (おはなしの日)
7月23日(日)	童話館をもっと楽しもう! (紙芝居の日)
7月30日(日)	モコ&シドロモドロフの「おもしろおはなしマイ・イ・ム」
8月5日(土)	童話館をもっと楽しもう! (紙芝居の日)
8月6日(日)	童話の森ヴァイオリンコンサート
8月10日(木)	山の道化師 バックマンのハッピータイム
8月11日(祝)	山の道化師 バックマンのハッピータイム
8月12日(土)	ことたま座『竹取物語』
8月13日(日)	映像と語りでつづる「信濃の伝説」
8月14日(月)	モコ&シドロモドロフの「おもしろおはなしマイ・イ・ム」
8月15日(火)	モコ&シドロモドロフの「おもしろおはなしマイ・イ・ム」
8月19日(土)	童話館をもっと楽しもう! (おはなしの日)
8月20日(日)	コンサート「Rumi's パフォーマンスと仲間たち」
8月27日(日)	シナノフェス2017
8月28日(月)	映像で偲ぶミヒャエル・エンデの世界
8月30日(水)	東京音楽大学による童話の森ピアノコンサート
9月3日(日)	フェスティバル おはなしを楽しむ日
9月9日(土)	映像と語りでつづる「信濃の伝説」
9月10日(日)	モコ&シドロモドロフの「おもしろおはなしマイ・イ・ム」
9月16日(土)	ことたま座『竹取物語』
9月17日(日)	フェスティバル紙芝居を楽しむ日①
9月18日(祝)	フェスティバル紙芝居を楽しむ日②
9月23日(祝)	黒姫高原クラフト祭り①
9月24日(日)	黒姫高原クラフト祭り②
10月2日(月)	休館日
10月7日(土)	映像と語りでつづる「信濃の伝説」
10月8日(日)	ことたま座『竹取物語』
10月9日(祝)	モコ&シドロモドロフの「おもしろおはなしマイ・イ・ム」
10月14日(土)	童話館をもっと楽しもう! (紙芝居の日)
10月15日(日)	森の音楽祭
10月22日(日)	ミヒャエル・エンデ講座
10月31日(火)	休館日
11月4日(土)	物語のなかの香りたち③

※掲載のイベントは都合により変更になる場合があります。

第4回 黒姫高原一箱古本市

5月3日(祝)・4日(祝)

童話館らしく本でつながるイベントを企画しました。コブシ・リュウキンカの開花とあわせて春の黒姫高原を楽しんでください。まだ出店者も募集中。詳しくは黒姫童話館までお問合せください。(TEL026-255-2250)



映像と語りでつづる「信濃の伝説」

5月5日(祝)・8月13日(日)・9月9日(土)・10月7日(土)

開演/11:00~/13:30~/15:00~/

長野県内に伝わる民話を、大きな画面で映像を見ながら、NHKテレビ「信濃の伝説」出演者による、笑いあり、涙ありの、ドラマ実演をお楽しみください。きっと民話の世界にひたっていただけます。



演目
大蛇になった黒姫
徳本峠の小狐
神様のくれた苺
など
後援
NHK長野放送局

「高原の風につつまれて・見て・聞いて・読んで・語って・・・」

黒姫童話館

ミヒャエル・エンデの世界

松谷みよ子の世界

いわさきちひろ黒姫山荘



黒姫童話館 & 童話の森ギャラリー



<http://douwakan.com>

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻3807-30

TEL (026) 255-2250 FAX (026) 255-2261

【開館期間】 4月5日～11月30日(冬期休館12月1日～4月4日)

【開館時間】 午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)

【休館日】 5・6・9・10月の末日(日曜、祝祭日の場合はその翌日)

【交通】 しなの鉄道北しなの線「黒姫駅」下車、タクシーで15分

車の場合/上信越自動車道「信濃町IC」より5km



ミヒャエル・エンデ (1929~1995)

ドイツのガルミッシュで父・エトガー、母ルイーゼの長男として生まれる。戯曲作家を志し、演劇学校へ入学。処女戯曲『時は迫る』を書く。卒業後『サルタン』の二乗』を発表するが、うまくゆかず、職を転々とする。友人から絵本の文章執筆をたのまれ、書き始めたものが『ジム・ボタン』となり、ドイツ児童文学賞、国際アンデルセン賞優良賞を受賞。『はてしない物語』は、映画『ネバーエンディングストーリー』として世界で上映された。

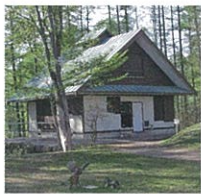


松谷みよ子 (1926~2015)

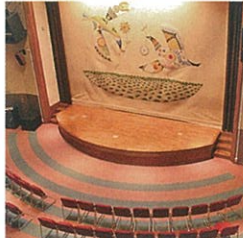
東京、神田に生まれる。1947年、野尻湖畔に疎開中の坪田譲治を訪ね書き溜めた童話ノートを渡したことが、デビューのきっかけとなる。初めての民話探訪の旅で訪れた信州で着想を得た『龍の子太郎』(講談社)で国際アンデルセン賞優良賞を受賞。『いないいないばあ』(童心社)など赤ちゃん絵本から小説・エッセイまでその著作は多数。『松谷みよ子民話研究室』を主宰し、民話探訪を精力的におこなった。

いわさきちひろ黒姫山荘

1966年、黒姫にアトリエを兼ねた山荘を建てました。春夏秋冬は「野花亭」、冬は「雪亭」と呼び、「あかまんとうげ」「花の童話集」(童心社)など、数々の作品をここで創作しました。未完となった遺作『赤い蠟燭と人魚』(童心社)もこの山荘で描いていました。童話館の山荘は中もご覧いただけます。いわさきちひろの作品は 安曇野ちひろ美術館 (☎0261-62-0772) ちひろ美術館・東京 (☎03-3995-0612) でご覧いただけます。



童話の森ホール



200人収容できるホールは、演劇、コンサート、童話の語りから各種セミナー、シンポジウムまで幅広い催しが開かれる童話を核とした交流の場です。

童話の森ギャラリー



『バラパン』M100号 松本重雄・画



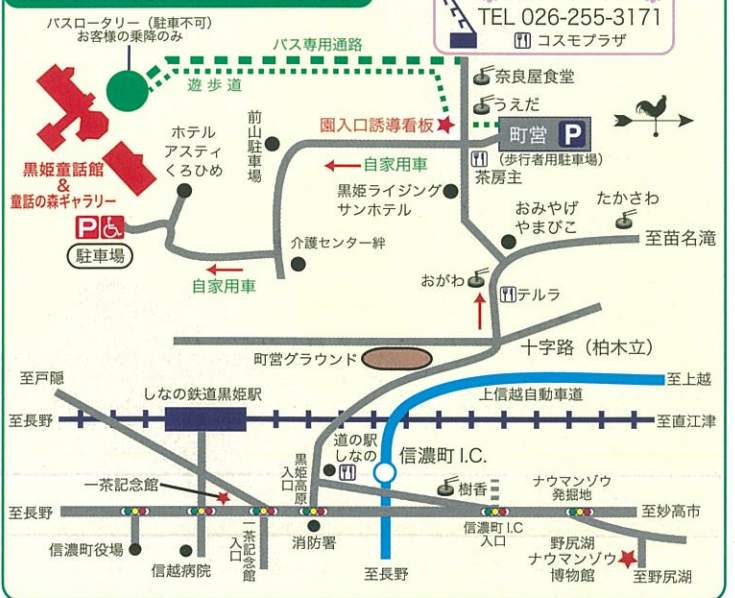
『わたし おしゃれをするの』(童心社) 大友康夫・文・絵



『長くつ下のピッピ』(岩波書店) アストリッド・リンダグレン・作 大塚勇三・訳 桜井誠・絵

当町出身の洋画家 松本重雄より寄贈された 80 号クラスの大作 123 点のほか、「長くつ下のピッピ」で知られる桜井誠。「くまくん」、「くまたん」シリーズの大友康夫の所蔵作品を定期的に展示するほか、童話館の企画展示も開催。

黒姫童話館への案内



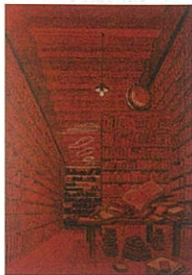
いわさきちひろ (1918~1974)

福井県武生市生まれ。3人姉妹の長女。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年松本善明と結婚、翌年長男猛を産出。この頃より絵本画家として精力的に活動を展開するようになる。生涯を通じて「子ども」をテーマに描きつづける。1974年肝ガンのため死去。享年55歳。代表作に『おふろでちやぶちやぶ』(童心社)、『あめのひのおるすばん』(至光社)などがある。

ミヒャエル・エンデの世界

エンデとここ信濃町とは童話館建設がきっかけで出会いました。「できる限りの協力をしましょう」というエンデ氏から、直接いただいた貴重な資料約2000点を所蔵、展示しています。

エンデは絵の才能にも恵まれ『モモ』の挿絵を描いています。右記、絵画の本棚には日本の作品も置いてあります。絵をよく見て探してみよう！



『コリアンダー氏の古書店』ミヒャエル・エンデ・絵

信濃の民話・信州の児童文学

20余編の信州の民話を映像やふすま式の紙芝居で紹介。信州の児童文学コーナーでは、島崎藤村など信州ゆかりの作家を大型年譜パネルでわかりやすく紹介しています。



本と人形の部屋

しかけ絵本や紙芝居から黒姫ゆかりの童話作家コーナーなど、ゆっくり童話や絵本を読んでみてはいかがでしょうか。



松谷みよ子の世界

赤ちゃんから熟年まで、多くのファンを魅了する作家・松谷みよ子。作家としてデビューするきっかけが、ここ信濃町野尻湖畔での坪田譲治との出会いでした。当時、創作していた作品をつづった貴重な童話ノートなどをご覧いただくことができます。



ミュージアムショップ

営業時間：9時～17時



喫茶には地元の食材を使ったスイーツやジュース、軽食もあります。ショップには、絵本から洋書まで、書籍に加えキャラクター商品など数多く取り揃えています。

喫茶『時間どろぼう』

営業時間：10時30分～15時 (夏期/10時～16時)



KUROHIME DOUWAKAN EVENT NEWS 2017

童話館を楽しもう！ 11:00/13:00/14:00/15:00

童話館からお届けするおはなしのプレゼント。今年はどんな、おはなしや紙芝居が見られるな？ お楽しみに！

※出演者の状況によりお休みすることがございますので事前に童話館までお問合せください。

紙芝居の日
5月28日(日)
7月 9日(日)
7月23日(日)
8月 5日(土)
10月14日(土)

おはなしの日
6月 4日(日)
7月22日(土)
8月19日(土)



『物語のなかの香りたち』 10:30～12:00

5月13日(土)「なめとこ山の熊」ほか
7月 8日(土)「ピーターラビット」ほか
11月 4日(土)「小さな名前の木」ほか
講師：間瀬理江
信濃町「癒しの森」森林メディカルトレーナー、AIAHS認定アロマテラピスト

おはなしを彩る要素のひとつに植物があります。童話や絵本に出てくる香りを森に入探したり、アロマ抽出したり体験しよう。参加者募集中！！



3回シリーズ
各回10名(申込制)

つかはらしげゆきの 紙芝居の楽しみ方

6月11日(日) 開演/13:00～



日本独自の文化財である紙芝居の魅力について、その歴史的な価値や実践の方法などを楽しく学んでみませんか？
講師は児童文化の研究者でもあり道化師として活躍しているつかはらしげゆきさんです。

おはなしファミリー劇場 心はぐくむ おはなしの世界

7月15日(土)・16日(日) 開演 11:00 / 14:00

美しい音楽の演奏、映像とともに織り成す言葉のハーモニー、あたたかく、やさしく語りかけるすてきな物語の数々…。日本と世界の昔話、最新の人気絵本、宮沢賢治作品などのおはなしが、叙情豊かに、色とりどりに、繰り広げられます。さあ、すばらしい舞台をご家族おそろいで、お楽しみください。

出演：美咲 蘭と長野県「語り・おはなし朗読」の会連盟 演奏：角田忠雄(ギター)、中島志保(ピアノ) 他



第3回黒姫童話館 スタインウェイ・ピアノリレーコンサート

6月24日(土) ①13:00 / ②15:15
25日(日) ③10:30 / ④13:15 / ⑤15:15

黒姫童話館にあるスタインウェイ(B型)を多くの皆さまに弾いてもらう機会です。どなたでも、ご家族やお友達に腕前を披露して下さい。

★募集期間：4/5～6/2
★演奏時間：1人8分以内
★募集人数：各回それぞれ1時間30分に達した時点でしめきり。
★詳細は黒姫童話館まで。
★参加費：500円 ★調律協力金として入場には100円が必要



童話の森コンサート『音楽が見える 動きだす』アクト・クラシック!! 2017 in 童話館編

8月6日(日) 開演 11:00 / 14:00



ヴァイオリン 細川 奈津子



俳優 武井 雷俊

音楽の父と称されるドイツの作曲家J.S.バッハをテーマに、ヴァイオリニスト細川奈津子、俳優武井雷俊を中心にクラシック音楽と演劇が融合した公演です。作曲家が音楽に込めた想いを、目に見えるカタチへ。クラシック音楽が初めての方にも「ココロ」と「カラダ」で楽しく、わかりやすく表現する試みです。

東京音楽大学による 童話の森ピアノコンサート

8月30日(水) 開演 18:00

私たち東京音楽大学ピアノ科では、夏に信濃町で演奏合宿をしています。日ごろの練習の成果をお聴きください。皆さまのお越しをお待ちしています。



“Rumi's パフォーマンスと仲間達”

8月20日(日) 開演 11:30/14:00

オペラって難しくて、取っつきにくいと思っていられないませんか？実は、オペラはとっても楽しく、スリリングで美しいのです。コレベティールの香川紀恵のピアノ、ソプラノの森田留美の歌、他で楽しみ下さい。

♪ミュージカル「マイフェアレディ」より「踊り明かそう」
♪オペレッタ「マリッツァ伯爵夫人」より「ジブシーのバイオリンを聴くと」他



フェスティバル

おはなしを楽しむ日 紙芝居を楽しむ日

9月3日(日) 9月17日(日)・18日(祝) 11:00～15:30

全国から大勢の実演者が集まり、館のあちこちで楽しい紙芝居とおはなしが上演される祭典です。お楽しみに！



道化師と遊ぼう!!

9月24日(日) 11:00～15:30

童話館に道化師(ピエロ)がやってくるよ。バルーンアートや皿回し体験など楽しんでね。芸術の秋に黒姫高原で楽しいひと時をお楽しみ下さい。



出演 塩尻道化組合

しかけ絵本づくり教室

5月3日(祝)・4日(祝) 11:00 / 13:30
8月5日(土)・19日(土)

世界に一つしかない絵本を作ってみませんか。簡単なしかけ絵本の仕組みで楽しめます。



各回定員10名(申込制)

入館料+500円(材料費)

しなのまち 森の音楽祭

10月15日(日) 11:00～15:00

今年も好評につき、童話の森ホールを使って、信濃町から音楽の魅力をお届けします。信濃町で音楽活動をしている皆さん、是非お集りください。

※出演者数により時間等変更場合があります。



募集

黒姫童話館の『エンデ講座』

10月22日(日) 13:00～15:00

所蔵する資料と共にエンデとも親交のあった堀内美江先生といっしょにエンデの人生や作品について学んでみませんか？



定員15名(申込制・先着順) 9/1より募集開始

講師：堀内美江
ドイツ文学者
童話館エンデ資料室監修者

●入館料

区分		黒姫童話館	共通入館料	ギャラリー
個人	一般	600円	800円	300円
	小中学生	400円	500円	200円
団体 20名以上	一般	500円	600円	200円
	高校生	400円	450円	150円
	小中学生	300円	350円	100円

●童話の森園内入口の誘導看板に従い、徒歩または自家用車でのご来館ください。
●当館は、ペットの入館はできません。外へ係留してください。ペット同伴の方は、園内では必ずリードを着用ください。●割引の併用はいたしません。
●ご不明な点は黒姫童話館(電話026-255-2250)へお問合せください。